

キャンバービーム注文シート

※車種によって内容が異なるのでご注意ください。

FAX 0224-51-3365

平成 年 月 日

メーカー	車輦形式		車輦番号
年式	商品	駆動方式	Camber Beam DOWN量 ○で囲む
	製品 下取り品 ※保証金¥50,000必要 現物支給品 ※現物送付必要	2WD 4WD	0mm・10mm・20mm(オプション¥3,150円) 30mm(標準仕様)(4WDは30mm以下) 40mm (オプション¥3,150円)
ト一角 (注意書きを お読みください。)	キャンバー角		オフセット加工(4WD不可)
H I (主にエアサス) LOW (主に車高調)	5度 ・ (3度) ・ 8度 ※5度・8度はタイヤ摩耗が大きくなります。 ※5度・8度はオプション¥3,150		-9mm・-6mm・-3mm(オプション¥3,150) 0mm(標準) +3mm・+6mm・+9mm(オプション¥3,150)

ステップワゴンRGは標準40cmダウンになります。ダウン量変更は0mmのみ可能です。

ト一角 HIタイプ・LOWタイプの設定目安。

HIタイプ-30mm~-70mmDOWN位・・・ダウンサスやエアサ取付け走行向け(40mm前後ローダウン)

LOWタイプ-80mm~-100mmDOWN位・・・車高調等の低車高向け(80mm前後のローダウン)

注：ノーマル状態からのダウン量です。走行時の車高でお考え下さい。キャンバービームのダウン量は含みません。
例 現在のダウン量が-90mmだった場合、キャンバービーム30mmダウンを装着して合計ダウン量が-120mmになり、そのままの状態で行くのであればト一角はLOWタイプになりますが、キャンバービームで30mmダウンした分を車高調もしくはエアサスなどで車高を+30mm上げた場合はト一角はHIタイプになります。なぜHIタイプになるかというと、キャンバービーム30mmダウンを装着して車高が下がり過ぎた場合にト一角の設定はあくまでもノーマルからのダウン量を目安にしているため、車高を+30mm上げることによって現在のダウン量が-90mmだったものが-60mmダウンという状態になってしまうため、HIタイプになります。※この商品は車高ダウン量・車輦個体差及び製品の製作の過程で多少の数値の誤差が出る場合がございます。あくまで前後平行状態での目安の数値ですのでト一角は車輦の状態などにより必ずしもインになるとは限りませんので予めご了承下さい。

この商品はVIAの強度試験に合格していますが、公道走行時は公認を必ず取得をお願いします。

★ 不明な点はお問い合わせください。

ティーセレクション TEL 0224-51-3325

☆こちら(↓)に社版(住所・お名前・連絡先)を記入・印を押しFAXお願い致します。